

お手入れ方法

- ◆ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

本体外側・せんユニット・コップ

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗った後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。※つけ置き洗いはしない。

本体内側

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柄のついたスポンジブラシなどに含ませて洗い十分にすすぎ洗った後、水分が残らないよう、乾燥させる。※つけ置き洗いはしない。

パッキン

中せんセットや、せんユニットから取りはずし、水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗った後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。その後P.7 (パッキンの取りつけ方) を参考にして、確実に取りつける。(パッキン表面にゴミなどが付着していると、もれの原因)

中せんセット

中せんセットはふた部と本体部に分解できます。P.7 (中せんセットの分解及びセット) をご覧ください。

水またはぬるま湯で薄めた中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗った後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。 ※つけ置き洗いはしない。

底カバー

底カバーを本体から取りはずし、水またはぬるま湯で薄めた中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗った後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。その後P.8(底カバーの取りつけ方)を参考にして取りつける。※つけ置き洗いはしない。

下げひもセット

湯を含ませたやわらかい布を固くしぼり、汚れをふきとる。その後日陰で干す。 ※つけ置き洗いはしない。

赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内部に「赤サビ状の斑点」が出たり、「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- ① 規定量の熱湯にクエン酸を約10g加える。
 - ② 約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内側を洗い、水で十分にすすぐ。
 - ③ 十分に乾燥させる。
- ご使用前、ご使用後は十分にお手入れをしてください。
 - においを防ぎ清潔にご使用いただけます。
 - 他のものと一緒に手入れするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。

パッキンの取りつけ方

正しく取り付けられていないと、もれの原因となります。

お手入れなどで、中せんパッキンやふたパッキン、せんパッキンを取りはずした後は、次の内容を読んで正しく取りつける。

中せんセット

「中せんセットの分解及びセット」

分解

- ①中せんレバーをあける。
- ②脱着スイッチを矢印の方向に動かし、ひき上げてふた部をはずす。

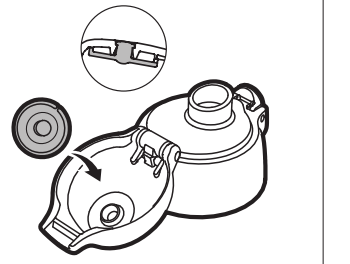
セット

ふた部を本体部に注ぎ口の方向に合わせてカチッと音がするまで押し込む。

せんユニット

ふたパッキンの取りつけ方

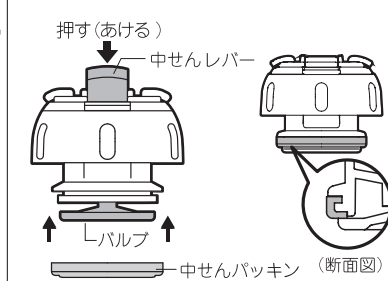
ふたの穴にパッキンの凸部をしっかりと押しこむ。 ※ふた天面部からパッキンが出ていることを確認する。



※正しく取り付けないと、飲みものもれる原因となります。

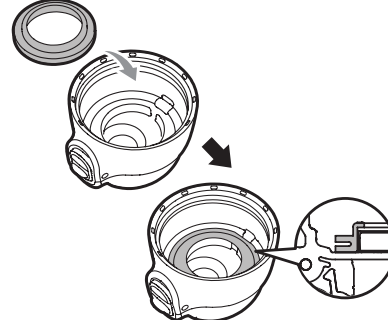
中せんパッキンの取りつけ方

注ぎ口の中せんレバーをあけ、バルブが下がったことを確認し中せんの樹脂部に装着する。



せんパッキンの取りつけ方

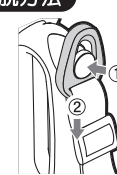
せんにはめこみ、指でまんべんなく押さえ、浮いていないことを確かめる。



下げひもセットの着脱と底カバーの取りつけ方

下げひもセットの着脱方法

- ①フックの穴を本体の突起部にめ込む。
 - ②カチッと音がするまで下方に引っ張る。
- ※取りはずしは、つけるときの逆手順でおこなってください。



底カバーの取りつけ方

底カバーを本体底に合わせてしっかりと取りつける。 ※取りつける時は十分乾燥させてからおこなってください。サビや底カバーの抜け落ちによるけが、やけど、破損などの原因になります。



こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

| 症状 | 確認するところ | 処置 |
|--------------------|---|---|
| ■飲みものもれる | パッキンが正しく、しっかり取り付けられていますか。 中せんセットやせんユニットがしっかりとしまっていますか。 中せんレバーやふたがしっかりとしまっていますか。 パッキンが汚れていませんか。 飲みものを入りすぎではありませんか。 | パッキンの取り付け位置や方向、浮きがないことを確認してください。 しっかりとしめなおしてください。 しっかりとしめなおしてください。 「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。 規定量まで飲みものを減らしてください。 |
| ■飲みもの(本体内部・せん)がにおう | 飲みものを長時間入れたままにしたり、本体内部、せんユニット・中せんセットやパッキンに茶しぶなどの汚れが付着していませんか。 | 「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はクエン酸をご利用ください。 |
| ■保温保冷が効かない | 十分に温かい(冷たい)飲みものを入れていませんか。 飲みものの量が少なすぎませんか。 | 十分に温かい(冷たい)飲みものを規定量まで入れてください。 氷をたくさん入れたり、飲みものの量を多くすると効果的です。 |

※中せんパッキン・中せんセット・ふたパッキン・せんパッキン・せんユニットは消耗品です。使用後半年から1年を目安にご確認ください。

アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買上げの販売店もしくは弊社のお客様相談窓口にてご相談ください。

消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に貼ってあるラベルに記載されています。)

- ①ホームページ………トップページのオンラインショップからお求めください。(取扱部品に限られておりますが、ご了承ください。)
- ②販売店………ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③お客様相談窓口……お電話もしくはFAXにてお申込みください。

| 部品名 |
|--------------------------------|
| ASN型 コップ |
| ASN型 中せんセット (ふた部、本体部、中せんパッキン) |
| ASN型 中せんパッキン |
| ASN型 せんユニット (せん、せんパッキン、ふたパッキン) |
| ASN型 せんパッキン |
| ASN型 ふたパッキン |
| ASN型 底カバー |
| ASN型 下げひもセット (フック、おくり、ベルト) |

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

お客様相談窓口

- 受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00
月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ
06-6453-9489
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
製品型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。

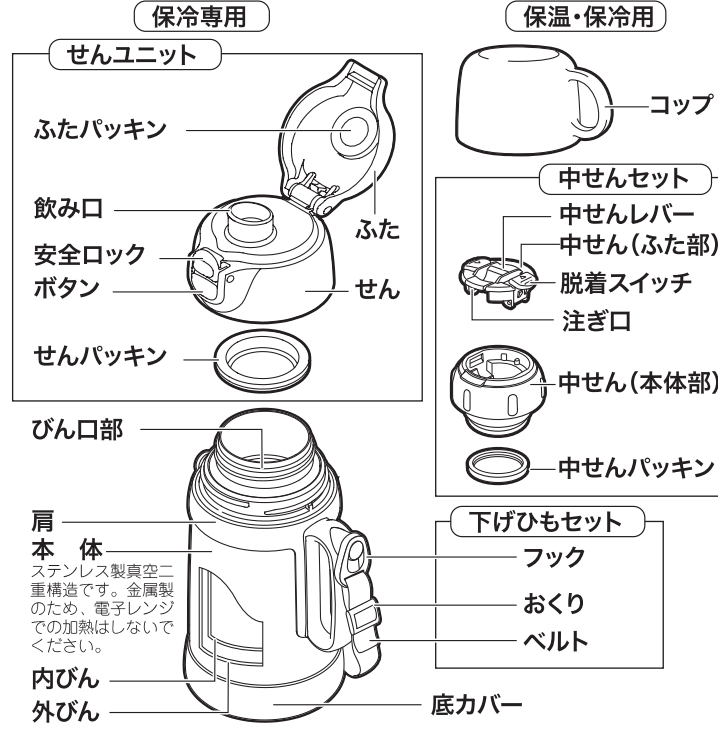
ピーコック魔法瓶工業株式会社
〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

Peacock 保温保冷用/保冷専用

2WAYタイプ(コップ&ストレートドリンク) 取扱説明書 ASN型

このたびは、ピーコック製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。また後々のため、この取扱説明書を大切に保管してください。

各部のなまえ



本体プリント部分の色の濃淡はペイント風のデザインによるもので不良ではありません。予めご了承ください。取扱説明書中のイラストは、実際のものとは異なる場合があります。

安全上のご注意

もれやあふれは他のものを汚す原因となります。

飲みものの保温・保冷以外に使用しない

- **ドライアイス・炭酸飲料など**
本体内の圧力が上がり、中せんセット・せんユニットがあがなかったり、飲みものがふき出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。
- **みそ汁やスープなど、塩分を含んだもの**
サビ・保温・保冷効果の低下の原因。
- **牛乳・乳飲料・果汁など**
腐敗・変質・サビの原因。そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、飲みものがふき出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。
- **果肉・お茶の葉など** もれなど故障の原因。

● **乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。**
やけど・けがなど危険。

● **熱いやかんをびん口部に触れさせない。**
転倒しやけどなどのおそれ。傷・変形の原因。

● **熱い飲みものを入れた場合は、直接飲まないで必ずコップを使用する。** やけどのおそれ。

● **ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。** 変色・変形のおそれ。

● **倒したり、落としたり、ぶついたり、強い衝撃を与えない。**
破損・保温・保冷効果の低下・サビ・飲みものがもれる原因。

● **中せんのレバー方向での注湯(注水)はしない。**
お湯が飛び散り、やけどや他のものを汚す原因。

● **飲みものを入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。**
外出時など十分なお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。帰宅後に、十分お手入れをする。カビの発生・サビ・穴あきなど故障の原因。

● **飲みものを入れた状態で長く放置しない。** 腐敗・変質の原因。

● **保冷専用のせんユニットを使用のときは、熱い飲みものは絶対に入れない。** やけど・もれなど危険。

● **本体の底に貼ってある保護シールは、絶対にはがさない。**
はがすと、保温・保冷効果が低下するおそれ。

● **製品の横置きは避ける。** もれるおそれ。

● **大きな氷を入れる場合は、押しこまず小さくして入れる。また、アイスピックなど先のとがったもので突かない。**
傷・もれ・変形など故障の原因。

● **中せんセット・ふた・せんユニットは確実にしめて使用する。安全ロックも確実にしめ、本体を傾けたりして飲みものがもれないことを確認する。** 確実にしめないと、もれるおそれ。

● **パッキンは必ずつけた状態で使用する。** もれ・衣服を汚す原因。

● **コップ・中せんセット・ふた・せんユニットを持って運ばない。**
落としてケガや破損の原因。

● **バッグなどに入れるときは、本体を縦に置く。**
万一のものを防ぐため、必ず縦に置く。

● **パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等の精密機械と一緒に持ち運ばない。** 万一飲みもののもれがあった場合、精密機械の破損の原因。

● **自動車運転中は使用しない。**
車内や衣服を汚す原因。運転者の場合、運転への注意が散漫となり危険。

● **改造や分解修理はしない。** 故障や事故の原因。

● **冷凍庫に入れない。** もれなど故障の原因。

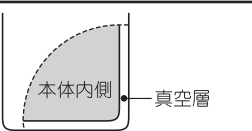
● **電子レンジでの加熱はしない。** 火花が飛び危険。変形や変色の原因。

● **下げひもセットを持って振りまわさない。**

● **下げひもセットを首から下げたまま遊んだり、周囲のものに引っ掛けたり、乱暴な取り扱いには絶対にしない。** 故障や事故の原因。

真空層の内部から水の音がする場合は、使用しない。

保温・保冷効果が低下するおそれ。
真空層にたまった水が本体内側にしみ出した場合、飲んで体調不良を起こす原因。



● **注湯(注水)操作後、製品を横置きした場合、また冷水を長時間保冷した場合に、中せんの注ぎ口から残留水滴や結露水がもれることがあり、他のものを汚す原因となるので注意する。** この場合は、中せんレバーを倒した状態で、注ぎ口を下にして本体を軽く上下にふって水滴を出す。

● **ご使用中、コップの裏側や中せん、びん口部に濡れたような水滴がつく場合がありますが、この症状は水もれではありません。水蒸気が凝結して水滴となる結露現象です。**

熱い飲みものを入れた場合(コップ・中せんセット使用時)

● **熱いお茶を長時間保温すると、お茶の色が変わるため、外出時はティーバッグなどを使用する。** お茶を保温すると、お茶の色や風味が変わります。これはお茶の成分が時間とともに変化するためのもので、人体に害はありません。

● **熱い飲みものを入れた場合、内部が減圧され、中せんレバーがあげにくくなったり、あけるときの音がする場合がある。**

● **熱い飲みものを入れて使用するときは、本体を急に傾けずゆっくりと注ぐ。** 急に傾けると飲みものが勢いよく出て、やけどなどのおそれ。

● **熱いものを入れた直後、本体をふらない。**
内圧が急に上がり中せんレバーがあげにくくなったり、あける時、音がする場合があります。

● **傾けた状態や顔の近くで中せんレバーをあげない。**
熱湯を入れた場合、湯が急激に出たり、飛散してやけどのおそれ。

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

● **塩素系漂白剤は使用しない。** サビ・穴あきなど故障の原因。

● **本体外側は、漂白剤を使用しない。** サビ・塗装はがれのおそれ。

● **本体内側に酸素系漂白剤を使用する際は、中せんセットやせんユニットを取りつけない。**
本体の内圧が上がり、中せんセットやせんユニットが飛び出すなど危険。

● **アルコール・シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。**
本体プリント部分のはがれ・傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。

● **本体・中せんセット・せんユニット・パッキン・飲み口の煮沸および食器洗浄機、食器乾燥機などの使用はしない。**
傷・サビなど故障の原因。

● **本体は丸洗いでできますが、つけ置き洗い(水中に放置)はしない。**

● **本体を丸洗した後は、必ず水分をふきとる。**
ふきとらないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。

● **長時間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。**

ご使用方法

ご使用前にコップ・中せんセット・せんユニット・内びんを洗ってからご使用ください。

コップ、中せんセット(保温・保冷用)

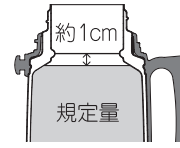
1 コップ、中せんセットをはずす

本体からコップ、中せんセットを矢印の方向にまわしてははずす。



2 熱い(冷たい)飲みものを入れる

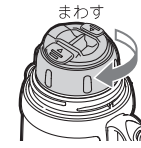
※あらかじめ少量の湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)するとより効果的です。
※飲みものの量は図の規定量までにする。



飲みものを入れすぎて中せんセットをしめると、飲みものがふき出したり後からもれ出すことがあります。入れすぎた場合は、規定量になるまで飲みものを減らしてから、中せんセットをしめてください。

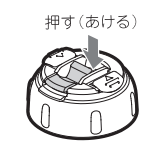
3 中せんセットをしめる

①中せんセットを矢印の方向にまわして最後まで確実にしめる。
②中せんセットをしめた後は、必ず注ぎ口が下がっているかを確認する。



4 飲みものを注ぐ

①中せんレバーを指で押し下げる。
②製品本体を持って注ぎ口方向へ傾けて注ぐ。
※傾けたまま、中せんレバーを絶対に押し下げないでください。飲みものがあふれ出すことがあります。
※中せんレバーの操作が固くて押せないときは、無理やり下げないで一度中せんをゆるめて、レバーを指で押し下げ、そのまましめなおしてください。



5 注ぎ終わったら

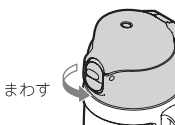
①必ず製品を立てた状態で2~3秒してから注ぎ口を指で押し下げてください。
※注ぎ口周辺や中せん内部に、飲みものがわずかに残留する場合があります。特に製品を横置きにした場合にこぼれることがあります。
②コップは最後までゆっくり確実にしめてください。



せんユニット(保冷専用)

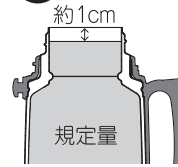
1 せんユニットをはずす

本体からせんユニットを矢印の方向にまわしてははずす。



2 冷たい飲みものを入れる

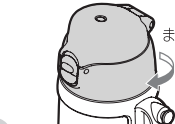
約1cm
規定量
冷たい飲みものを入れ、せんユニットを確実にしめる。
※あらかじめ少量の冷水を入れ、1分程度予冷するとより効果的です。
※飲みものの量は図の規定量までにする。



飲みものを入れすぎてせんユニットをしめると、飲みものがふき出したり後からもれ出すことがあります。飲みものを入れすぎた場合は、規定量になるまで飲みものを減らしてから、せんユニットをしめてください。

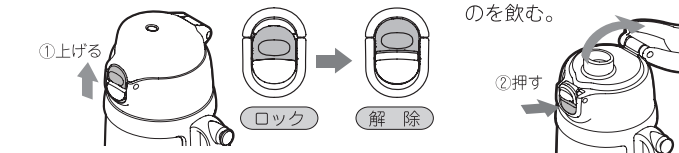
3 せんユニットをしめる

ふたをしめた状態で、せんユニットを矢印の方向にまわしてしめる。



4 ふたをあけて飲みものを飲む

①製品を立てた状態で、安全ロックを上げる。
②ボタンを押してふたを開け、ゆっくり傾けながら飲みものを飲む。



5 飲み終わったら

①飲み終わったら、製品を立てた状態でふたをカチッと音がするまで確実にしめる。
安全ロックがロックになっている時は、ふたがしまりませんのでご注意ください。
②安全ロックを下げて、ロックする。

